



舩

もやい

…船をつなぎとめること
共同で事をなすこと

学校ホームページ
QRコード→



"体験"から学ぶ

6月29日、5年生は運動場東側の学習田で『田植え』体験に挑戦しました。(この様子は学校HPにもアップしています。)これは“総合的な学習の時間”の「米作り」についての学習の一環で、毎年させていただいているものです。この『田植え』体験ですがどの学校の5年生も経験できるわけではありません。田を貸してくださる地域の方のご厚意や指導して下さる保護者の方やJAのご協力なしでは実現できません。本当にありがたいことです。



今回、私も田に入って5年生と一緒に田植を体験しました。子どもたちのほとんどが初めての経験だったと思いますが、田んぼに入った時の泥の感触や足の運び方、植える苗のちぎり方(?)や植える時の苗の差し込み方などなど、その大変さや難しさは「やってみないと絶対にわからない」と改めて実感しました。今の時代、PC・スマホを使えば知りたい情報は瞬時に大量に手に入れることができますが、実体験をとおして得られるこのような感覚・体感や感情・思いは、何物にも代え難い貴重な学びだと考えます。この体験をとおして農業を生業として働いている方々の姿について、今後、キャリア教育の視点からも学びを深めてほしいと思います。また、米作りは、米という漢字から「八十八」の手間(工程)がかかると聞きますが、収穫までしっかりと観察を続け、その間、学習田に関わってくださっている方々への感謝の気持ちも忘れないでほしいと思います。

総合的な学習の時間では、4年生は本校の伝統である「權伝馬踊り」を、3年生はパラリンピック種目である「ボッチャ」を体験します。6年生は地域の歴史について、自ら動いて探究しています。1・2年生は生活科で、身近にあるものを素材とした体験をしています。“体験”からの学びの様子は、また学校ホームページやこの紙面で紹介していきます。

どんな夏休みに・・・?



1年で一番長く休みが続く「夏休み」。この夏、子どもたちはどんな過ごし方をするのでしょうか。これを読んでくださっている皆さんは、小学生の時の夏休みって覚えてますか。私はと言いますと、6時半に近所であるラジオ体操に行き(お盆前には行かなくなりました)そのままクワガタ取りに行き、帰って10時まで“夏休みの友”(ご存知ですか?)をやって、その後は学校のプールに行くか、公民館の広場で友達とソフトをするかを毎日繰り返していました。同じことばかりの日々だったので覚えているのかもしれませんが、その時々場面や空気感を今でもリアルに思い出すことができ、小学生の時にしかできない、それなりに充実した日々だったと思っています。

せっかくの長い夏休みです。“〇〇レポート”や“〇〇チャレンジ”など「これをやってみる」とか、“毎日1行日記”や“毎日15分読書”とか「これを続ける」など、この夏だからできること(できそうなこと)を、ご家族で今のうちから話題にさせていただけるとありがたいです。「東京でオリンピックがあったあの夏休みには、こんなことに挑戦したなあ!」と、大人になってから思い出せるような夏休みになるといいなあと思っています。

おすすめの一冊!

『トップランナーの言葉』NHK制作班

各界の第一線で活躍している人をゲストに迎え、その人の仕事哲学や生き様を描いたNHKの人気番組から「心を奮い立たせる熱い言葉」を集めた一冊です。読みながら「がんばらなきゃ」とか「これでいいんだ」などの思いが湧いてきます。続編『仕事をもっと面白くなるプロ論』もお薦めです。



おしらせ

○ 本年度の夏休みは、7月31日(土)～8月31日(火)です。この間、時間外の学校電話メッセージは夕方16:30～翌朝8:00をめどに設定しますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、土日祝日ははさんで8月7日(土)～8月16日(月)は学校閉庁期間となります。この間、職員は勤務していませんので、緊急を要する連絡は以下のとおりをお願いします。

① 延岡市役所代表

※ 延岡市教育委員会学校教育課につないでください。

② 学校携帯電話(よい子のしおりで番号を確認ください)